

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
情報処理科 システム運用コース											
プログラム実習											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	蛭名			実務経験	無	職種					
授業概要											
「プログラミング基礎」をベースに、より実践的なプログラミング技術を学ぶ。											
到達目標											
関数、グラフ、データベース機能の使い方を学び、MicrosoftExcelを仕事の場で使いこなすことができる。与えられたデータを分析・加工し、最適な状態で第三者に伝えることができる。マクロを使いExcelの自動化ができる。VBAプログラミングの基礎とオブジェクト指向の考えを学び、Excel上で動作するアプリケーションが作成できる。											
授業方法											
高度な関数の使い方を学ぶ。グラフの作成方法と最適な表現を学ぶ。データベースの利用方法を学ぶ。ピボットテーブルの利用方法を学ぶ。マクロ機能と自動化方法を学ぶ。VBAの作成方法を学ぶ。具体的には変数と配列の定義方法、プロパティ、メソッドなどのオブジェクトの使い方、If文などの分岐命令、For文などのループ命令の記述方法、コントロールを使ったフォームの作成方法を学ぶ。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会人として働くことを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。実習形式の授業であるためパソコン上での作業が多数の時間を占める。操作方法、プログラムの文法上または論理上の不明点は分からないままにせず、担当教員に積極的に質問すること。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本											
回数	授業計画										
第1回	関数の復習										
第2回	グラフの利用										
第3回	データベース機能の利用										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
情報処理科 システム運用コース	
プログラム実習	
第4回	ピボットテーブルの利用
第5回	マクロとVBA
第6回	VBA記述の基本
第7回	オブジェクトとは
第8回	演算子と条件分岐(1)
第9回	演算子と条件分岐(2)
第10回	ループと変数(1)
第11回	ループと変数(2)
第12回	実践アプリケーションの作成(1)
第13回	実践アプリケーションの作成(2)
第14回	実践アプリケーションの作成(3)
第15回	実践アプリケーションの作成(4)